

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 国際理工カレッジ
設置者名	学校法人 国際理工学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程（工業）	情報システム科	夜・通信	160 時間	160 時間	
	情報ネットワーク科	夜・通信	160 時間	160 時間	
	ゲームクリエイター科（4年制）	夜・通信	320 時間	320 時間	
	ゲームクリエイター科（3年制）	夜・通信	256 時間	240 時間	
	ビジュアルデザイン科	夜・通信	192 時間	160 時間	
	建築設計科	夜・通信	192 時間	160 時間	
	高度情報処理科	夜・通信	288 時間	240 時間	
	ITスペシャリスト科	夜・通信	320 時間	320 時間	
（備考） 情報ネットワーク科は2022年度新設のため1学年のみ在籍 ゲームクリエイター科（4年制）は2022年度新設のため1学年のみ在籍 高度情報処理科は募集停止中のため3学年のみ在籍（令和5年より募集再開） ITスペシャリスト科は2021年度新設のため1・2学年のみ在籍					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生配布・ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 国際理工カレッジ
設置者名	学校法人 国際理工学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/) 学校情報公開の事業報告書の1ページの1.法人の概要を参照

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前職（公立学校で教頭・校長の経歴）	2021.4.1～ 2024.3.31	教育の観点から見た授業・カリキュラムの質保証のアドバイス
非常勤	前職（民間企業において、取締役、監査役の経歴）	2021.4.1～ 2024.3.31	企業目線においての学生質保証（アウトカムズ）のアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 国際理工カレッジ
設置者名	学校法人 国際理工学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>・授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <p>年度末の3月までに、2~4年間のそれぞれのカリキュラムに基づき、学科長が授業計画書の内容についての検討を行い科目担当・教科書・教材等を決定する。各科目担当により授業計画を作成し、学校長をリーダーとするカリキュラム委員会(各学科長で編成)により内容を確認・確定する。教育課程編成委員会での委員の意見についても内容を検討し、カリキュラムに反映する。</p>	
<p>・授業計画書の作成・公表時期</p> <p>カリキュラム委員会で決定した授業計画書に基づき、各科目担当が授業計画書(シラバス)を作成。</p> <p>学科長が、各科目担当より提出のあった授業計画書を学科・学年ごとにまとめ確認、科目を設置する曜日・時間・使用教室を調整し、学年・クラスごとの時間割を作成する。</p> <p>各科からあがってきた授業計画書をカリキュラム委員会でまとめ、全体での曜日・科目担当・使用教室等を調整し、学校長の承認を受け3月中に印刷する。</p> <p>4月オリエンテーション時に、授業計画書(シラバス)と教科書・教材を各学生に配布し説明を行い公表する。</p>	
<p>・授業計画書の公表方法</p> <p>4月オリエンテーション時に、授業計画書(シラバス)と教科書・教材を各学生に配布し説明を行い公表する。</p> <p>各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、その時間の授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>	
授業計画書の公表方法	学生配布、ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

・科目による評価基準の策定

授業計画書（シラバス）を作成時に、科目担当が評価の検討を行う。
学校長をリーダーとするカリキュラム委員会（各学科長で編成）精査し、
必要があれば修正し確定する。

・科目評価基準の開示

各科目担当により作成された評価基準を授業計画書に記載し、学科毎
に冊子にまとめる。

4月オリエンテーション時に、授業計画書と教科書・教材を各学生に
配布の上評価基準について説明する。

また、各科目の授業の開始時にも授業計画書について説明・確認を行
う。

・評価方法

[講義科目]

授業計画書通り期末試験を実施、採点により素点を求める。
シラバスで公表している評価に基づき試験素点に出席率・課題評価を
加え、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。
「D」の評価の科目については、補講・課題等を行い科目担当が確認の
上「C」評価に変更することができる。

[演習科目]

授業計画通り、出席・課題評価その他評価を加味した評価基準に基づ
き、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。
「D」評価の科目については、補講・課題等を行い科目担当が確認の
上「C」評価に変更することができる。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとと
もに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各科目による評価について、科目担当はカリキュラム委員会で設定し
た成績評価基準に基づき100点満点で数値化を行う。(相対評価)
評価の目安は次のとおり。

評価区分	評価	成績評価基準	割合
合 格	A	100～80点	概ね20%程度
	B	79～60点	概ね60%程度
	C	59～50点	概ね20%程度

各学科長は、科目担当からの数値化された学生の履修科目の成績評価を集
計し、平均成績を相対的に比較して学科ごとの順位を把握し、学校長に報
告する。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・ 卒業の認定に関する方針について</p> <p>卒業認定については、学校の目的である「社会の発展に貢献し得る優秀な人材の育成」、教育目標である「建学の精神・スペシャリストの育成・豊かな人間形成」を念頭に、本校教職員から組織される卒業認定委員会において、クラス担任から提出された学生の状況について、卒業の要件である所定の課程の修了・学費の納入がなされているかなどを含め厳正に審議し、卒業を判定する。</p> <p>認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。「条件付き卒業」「卒業延期」で認定を受けた学生については、卒業認定の履修科目取得等の条件を満たした時点で、学校長が卒業の認定を行う。</p> <p>・ 卒業の認定方針の策定・公表</p> <p>卒業の認定方針の策定・公表については、入学時・進級時のオリエンテーションにおいて「学生の手引き」等を配布、条件についての説明を行っている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 国際理工カレッジ
設置者名	学校法人 国際理工学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)
収支計算書又は損益計算書	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)
財産目録	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)
事業報告書	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)
監事による監査報告（書）	ホームページ (https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間	800 単位時間	1312 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2112 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		173人	3人	4人	0人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 2年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。 認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
92人 (100%)	0人 (0%)	91人 (98.9%)	1人 (1.1%)
(主な就職、業界等) IT 業界、システム開発、情報処理、販売等			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート記入、一般常識・SPI 対策、面接練習、個別面談、求人票閲覧等指導			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
基本情報技術者試験	88.9%	(56/63名)	
情報処理技術者能力認定試験 2級1部	66.7%	(60/90名)	
情報処理技術者能力認定試験 3級	96.7%	(87/90名)	
C言語プログラミング能力認定試験 3級	57.6%	(53/92名)	
Java™プログラミング能力認定試験 3級	92.2%	(83/90名)	
Microsoft Office Specialist Excel 2016	93.3%	(84/90名)	
Microsoft Office Specialist Word 2016	89.1%	(82/92名)	
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
186人	4人	2.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、就職、学習意欲低下のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 電話連絡、本人面談、三者面談、家庭訪問等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報ネットワーク科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間	800 単位時間	1056 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1856 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		19人	1人	8人	0人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 2年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
学修支援等
<p>（概要） 検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) 情報ネットワーク科は 2022 年設置のため、2024 年 3 月に初めての卒業生が出る。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ゲームクリエイター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3520 単位時間	886 単位時間	3616 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4512 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		47人	0人	5人	3人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>4年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) ゲームクリエイター科(4年制)は2022年設置のため、2026年3月に初めての卒業生が出る。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ゲームクリエイター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2688 単位時間	640 単位時間	2880 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3520 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	127人	1人	4人	3人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>3年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
51人 (100%)	0人 (0%)	48人 (94.1%)	3人 (5.9%)
(主な就職、業界等) ゲーム・IT・一般企業等			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート記入、一般常識・SPI対策、面接練習、個別面談、求人票閲覧等指導			

(主な学修成果 (資格・検定等))		
情報処理技術者能力認定試験 3 級	91.4%	(64/70 名)
Web クリエイター能力認定試験初級	31.4%	(22/70 名)
Microsoft Office Specialist Excel 2019	94.2%	(66/70 名)
ビジネス能力検定ジョブパス 3 級	95.7%	(67/70 名)
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
185 人	7 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、就職、学習意欲低下のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 電話連絡、本人面談、三者面談、家庭訪問等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ビジュアルデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792 単位時間	544 単位時間	1696 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2240 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		93人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>2年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	3人 (6.7%)	35人 (77.8%)	7人 (15.5%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>web 製作、広告、デザイン、印刷、ゲーム、一般企業等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>履歴書・エントリーシート記入、一般常識・SPI 対策、ポートフォリオ作成、面接練習、個別面談、求人票閲覧等指導</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等))	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県稲毛区選挙管理委員会／選挙啓発動画の制作 ・ 利島ファーム／サクユリ焼酎 パッケージデザインの提案 ・ 株式会社トーホープラス ブランディング／ロゴ、パンフレット、マスコットキャラクターの制作 	
・ 情報処理技術者能力認定試験 3級	77.8% (35/45)
・ Photoshop 能力認定試験スタンダード	84.1% (37/44)
・ Illustrator 能力認定試験スタンダード	93.3% (42/45)
・ Web クリエイター能力認定試験 初級	84.1% (37/44)
・ ビジネス検定ジョブパス 3級	91.2% (44/48)
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
96 人	6 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、学習意欲低下のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 電話連絡、本人面談、三者面談、家庭訪問等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	建築設計科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1856 単位時間	1344 単位時間	736 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2080 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
210人	245人	1人	8人	2人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>2年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
128人 (100%)	40人 (31.3%)	84人 (65.6%)	4人 (3.1%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>建築・インテリア・土木業界 設計・施工・管理・営業業務等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>履歴書・エントリーシート記入、一般常識・SPI対策、面接練習、個別面談、求人票閲覧等指導</p>			

(主な学修成果(資格・検定等))	
建築CAD検定	74.0% (97/131名)
2級建築施工管理技術検定	61.2% (73/112名)
リフォームスタイリスト3級	88.2% (15/17名)
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
262人	4人	1.5%
(中途退学の主な理由) 就職、病気療養のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 電話連絡、本人面談、三者面談、家庭訪問等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	高度情報処理科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2688 単位時間	1120 単位時間	1632 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2752 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	34人	2人	2人	0人	2人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>3年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>IT業界、システム開発、情報処理、販売等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>履歴書・エントリーシート記入、一般常識・SPI対策、面接練習、個別面談、求人票閲覧等指導</p>			

Microsoft Office Specialist Word 2016	91.2%	(31/34名)
Microsoft Office Specialist Access2016	88.2%	(30/34名)
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 電話連絡、本人面談、三者面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ITスペシャリスト科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3584 単位時間	2016 単位時間	1568 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3584 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人	57人	0人	2人	0人	2人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>4年間のカリキュラムに基づき、授業計画書（シラバス）を作成。 毎年4月オリエンテーション時に、その年の授業計画書と教科書・教材を各学生に配布し説明を行う。 授業計画書は、各科目の授業日には必ず持参させ、授業の最初に授業計画書を確認、授業の目的・内容・進捗状況を確認してから授業を実施する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>試験・出席・課題評価その他評価を統合した評価基準に基づき、「A」「B」「C」「D」の4段階評価とする。「D」は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定委員会において、学生の状況についての履修状況を確認し卒業を判定する。認定は、「卒業」「条件付き卒業」「卒業延期」「留年」の判定になる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>検定試験対策や個別面談等を通常カリキュラム時間外にて対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果 (資格・検定等))		
基本情報技術者試験	100 %	(3/3 名)
情報処理技術者能力認定試験 2級1部	40.9%	(9/22 名)
情報処理技術者能力認定試験 3級	100 %	(22/22 名)
Java™プログラミング能力認定試験 3級	100 %	(22/22 名)
Microsoft Office Specialist Excel 2016	95.5%	(21/22 名)
(備考) (任意記載事項)		
ITスペシャリスト科は2021年設置のため、2025年3月に初めての卒業生が出る。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	1 人	4.5%
(中途退学の主な理由) 体調不良のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 電話連絡、本人面談、三者面談等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報システム科	150,000 円	660,000 円	250,000 円	施設費
情報ネットワーク科	150,000 円	660,000 円	250,000 円	施設費
ゲームクリエイター科(4年制)	150,000 円	680,000 円	250,000 円	施設費
ゲームクリエイター科	150,000 円	680,000 円	250,000 円	施設費
ビジュアルデザイン科	150,000 円	680,000 円	250,000 円	施設費
建築設計科	150,000 円	680,000 円	250,000 円	施設費
高度情報処理科	150,000 円	660,000 円	250,000 円	施設費
I T スペシャリスト科	150,000 円	760,000 円	250,000 円	施設費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価は、自己評価の結果について評価を行うことを基本とする。 学校関係者評価の結果を踏まえ、自己評価及び今後の改善方針について見直しを行い、それを今後の目標設定や取組の改善に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
建築・土木企業	2022年4月1日～2023年3月31日	企業等委員
建築・土木設計企業	2022年4月1日～2023年3月31日	企業等委員
I T系企業	2022年4月1日～2023年3月31日	企業等委員
卒業生	2022年4月1日～2023年3月31日	卒業生
地域関係者	2022年4月1日～2023年3月31日	地域関係者
地域関係者	2022年4月1日～2023年3月31日	地域関係者
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.itc.ac.jp/college/disclosure/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.itc.ac.jp/
--